



今年は225本の竿燈が会場を埋め尽くします

# 受け継がれる伝統の技

竿燈まつりは、江戸時代、真夏の病魔や邪気を払う「ねぶり流し」の行事として始められたとされます。

長さ約十二メートル、重さ五十キログラムもある竿燈大若を手のひら、額、肩、腰などに乗せてバランスをとる妙技は大観衆を魅了します。

「力四分に技六分」。竿燈をあげる基本の言葉どおり、差し手は子どもの頃からの修練と努力でその技を培ってきた。米俵を模した四十六個の提灯には町内ごとに町紋がデザインされています。「トッコイショ、トッコイショ」のかけ声に合わせて、町の名誉と差し手のプライドをかけた熱い四日間が幕を開けます。



しなる竿、バランスとる手も個性的



お囃子が差し手の意気を高めます

竿燈の観覧席発売中！

3日(金)の観覧席はまだ余裕があります。竿燈の妙技を間近でゆっくりご覧になれます。1席2,000円。申し込みは観覧席予約センター

☎(866)9977

竿燈の問い合わせ

商業観光課

☎(866)2112

## あきた特産市

物販コーナー(市役所前) 午後2時～9時30分  
 飲食コーナー(旧産業会館跡地) 正午～9時30分

問い合わせ 秋田観光コンベンション協会 ☎(824)8686

**案内所、あきた特産市物販コーナー**

交通規制18:30～21:30

**夜本部**

**案内所**

竿燈まつり会場案内図

**一般乗用車駐車場**

1	秋田県立体育館	130台
2	中央公民館	30台
3	裁判合同庁舎	100台
4	秋田地方法務合同庁舎	30台
5	秋田地方合同庁舎	40台
6	秋田市役所	150台
7	秋田県庁	145台
8	秋田地方総合庁舎	40台
9	秋田第二合同庁舎	25台
10	秋田県庁第二庁舎	70台

駐車時間 午後5時～10時  
 ⑥は午後5時15分～10時  
 ⑦⑨⑩は午後5時30分～10時

路線バスの迂回運行 竿燈期間中の交通規制により、竿燈まつり会場(二丁目橋～竿燈大通り～山王大通り県庁西交差点)と、昼竿燈会場(通町橋～せきや商店前)を通過する路線バスは迂回運行となります。 交通局営業課☎(862)3892